



42 たねさしスタンプ A・B

青森県立種差少年自然の家



○活動の概要○

「消しゴム」に彫刻刀で名前を彫って「年輪の土台」に貼り、「木の枝の持ち手」を付けて、オリジナルのスタンプ（はんこ）を作ります。

1 ねらい

消しゴムに名前を彫る活動や、自然の素材の持ち味を生かして加工する活動をすることで、創作の楽しさや自然物のよさを感じさせます。（小学校 図画工作 中学校 美術）

2 場所・人数・時間・期間

① 場所・人数 大ホール・プレーホール…150人以内 自然観察室…40人以内
個人でもグループでも可能（作業台は6～8人が最適）

② 期間 通年

③ 時間 30分～1時間 ※「白抜き」（白文・陰刻）30分、「浮き彫り」（朱文・陽刻）1時間。
「年輪・木の枝」接着が30分～40分。

3 職員の支援について

物品貸し出し時に職員がつきます。要請があれば活動支援に入ります。

4 準備物

区分	準備物	備考
団体	・特になし	
個人	・特になし	
自然の家	・消しゴム ・年輪 ・木の枝 ・彫刻刀 ・紙やすり ・はさみ ・鉛筆（B以上） ・トレーシングペーパー ・A4紙 ・セロテープ ・スタンプ台（朱肉） ・万能ボンド ・のこぎり ・のこぎり台 ・ブルーシート ・ペイントマーカー（名前ペン）	・トレーシングペーパー （5cm×5cm）
斡旋可能	「種差スタンプ」セット 30円 （消しゴム2、トレーシングペーパー2、年輪1、木の枝1）	消しゴム A（3cm×3cm・薄形） B（2cm×2cm・厚型）

5 引率者の役割分担

係名	役割
代表責任者	・全体の掌握、指揮、連絡にあたる。
救護係	・緊急時の救護にあたる。

6 活動の流れ

- ① 用具の準備と諸注意
- ② 作り方の説明
- ③ 製作・押印（スタンプ説明）
- ④ 片付け

7 その他

- ・「年輪」「木の枝」は事前に用意するが、参加者が自分の好きなように、のこぎりで切ることも可能。
- ・スタンプの「サイズ」や「形」等は自由に加工ができるので、団体が最初に決めることが必要。
（団体が統一する、個人の自由に任せる、名前に限定、イラストも可、等）
- ・「消しゴム」2つ配付。1つは失敗した時の予備（使わない場合は持ち帰る）。「片面のみ」を彫る。
※ 裏側（反対側）は「年輪」にしっかりと接着させる面のため彫らない。

【注意】 必ず、事前に確認すること！

※1 スタンプの「サイズ」「形」等は、統一するか。

- ・A「3 cm×3 cm消しゴム」またはB「2 cm×2 cm消しゴム」を配付。
- ・「そのサイズ（正方形）のまま使う」、「自由な形にする（はさみで切って六角形や丸型にする）」等、最初に決めておくことが大切。

※2 「どの面」を彫るか。 → 「色付きの面」を彫るのがお勧め！

- ・色付きの面……鉛筆の字が、やや見にくいですが、彫った部分が白くなって見やすい。
- ・白色の面……鉛筆の字は写りやすいが、彫った部分も面も白なので、見にくい。

※3 「文字」を彫る（白抜き・陰刻）か、「文字の周り」を彫る（浮き彫り・陽刻）か。

- ・簡単なのは「白抜き」（文字が白く出る）。文字をなぞって、彫刻刀で彫るだけなので、すぐにできる。複数の文字や、漢字も可能。ただし、「消しゴムのサイズ」と「漢字の字数と画数」による。低学年の児童は「簡単な文字」にするのが成功のコツ。
- ・「浮き彫り」（文字が赤く出る）は、細かい作業になるし、時間もかかるので、難しい。細い線は非常に難しい。低学年の児童は「線は太く」「字数は少なく」「画数は少なく」にしないと失敗する。
- ・Bタイプは（白抜き）だけ。
「サイズ」が小さいので、「1字」（ひらがな・カタカナ・アルファベット）に限定したほうが良い。「漢字」の場合は「画数の少ないもの1字」にして、細く彫らないと失敗する。

※4 スタンプの「枠の線」（輪郭線）を付けるか、付けないか。

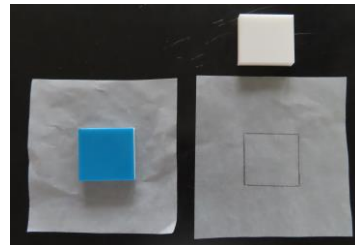
- ・付けるなら、「浮き彫り」は「枠の線」を残して彫る。付けなくても構わない。
- ・「白抜き」は「枠の線」を彫る。ただし、「枠の線」を付けると「サイズ」が二回り小さくなるので、付けないことが多い。
- ・Bタイプはサイズが小さいので、枠の線（輪郭線）は付けない。

① 「消しゴム」（上面が色付き、下面が白色）、1人2個、配付。

「A4紙」1枚配布。これは「作業の下敷き」および「試し押し用」として使う。

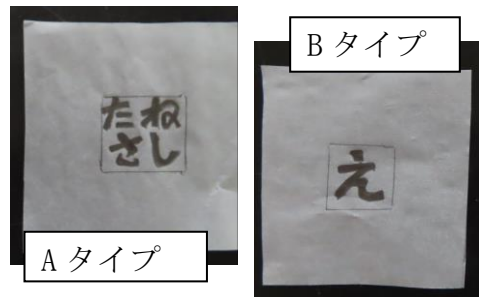
② 「トレーシングペーパー」（5 cm×5 cm）の中央に「消しゴム」を置き、「鉛筆」（B以上の濃いもの）で、その「消しゴムの輪郭」をなぞる。

※「自由な形にする」場合は、最初に消しゴムを「はさみ」で切ってから、輪郭をなぞる。



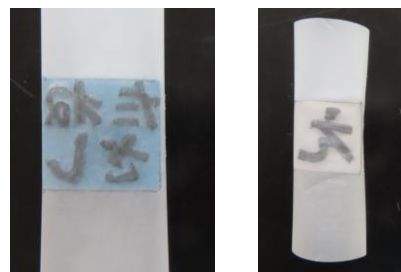
③ その「トレーシングペーパーの消しゴムの輪郭」の中に、「鉛筆」で「文字など」を書く。

- ・「字数や文字」は「統一」か「自由」か。最初に団体に決めてもらう。（Bタイプは「1字」に限定したほうが良い。）
- ・漢字、ひらがな、カタカナ、アルファベット、その組み合わせ、等、いろいろ。
- ・とにかく、「字数」も「画数」も、極力少ないのがベスト！
- ・「濃く」「太く」書くのが大事。細い線を彫るのは、非常に難しい。



※Aタイプで「枠の線」を付ける場合は、最初に「枠の線」を書いてから、その中に文字を書く。

④ その「文字等を書いたトレーシングペーパー」に「消しゴムの文字を彫る面」をのせて（線に合わせて）セロテープで軽く貼り付ける。



- ⑤ 「トレーシングペーパーの文字」(裏返しになっている)を上からなぞって、「消しゴム」に写す。「枠の線」をつける場合は「枠の線」もなぞる。

→ 上から「丸いもの」で、トレーシングペーパー全体をこすってもできる。

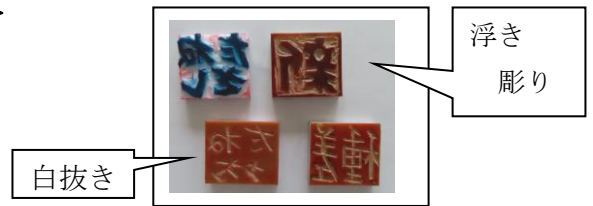
→ なぞった文字が薄い場合は、直接、消しゴムに鉛筆で書く。(文字は逆になっている)

- ⑥ セロテープをはがしてトレーシングペーパーを取り、「消しゴム」に写った文字を、「彫刻刀」で彫る。「枠の線」をつける場合は、最初に「枠の線」から始めると、やりやすい。

※「白抜き」か「浮き彫り」か、「はんこの枠の線」を付けるかどうか、確認!

※「文字は逆になっている」ことに注意!

※「白抜き」も「浮き彫り」も彫刻刀だけで彫る。ケガに注意!



- ⑦ 「彫った消しゴム」を「スタンプ台」(朱肉)に付けて「A4紙」に「試し押し」する。

- ・あまり強く押しつけると、消しゴムが変形して正しい文字にならないので、「スタンプ台」も「試し押し」も軽く押すほうがよい。
- ・「試し押し」してみて、修正したい場合は、少しずつ彫ること。ここで、あまり手を加えると、むしろ失敗することが多い。※「すこし雑な感じ」の方が、味わいがある。

- ⑧ 「消しゴム」に合う形の「年輪」と「木の枝」を探し、ボンドで貼り付ける。

- ・用意した「年輪」や「木の枝」が「消しゴム」に合わない場合は、自分で好きなように「のこぎり」で切ってもよい。
- ・「年輪」や「木の枝」は、「紙やすり」で形を整えてもよい。接着面は「紙やすり」で滑らかにしたほうが、くっつきやすい。ただし、手を加えすぎると「自然らしさ」がなくなる。
- ・「ボンド」で貼り付ける順序は、どちらが先でも構わないが、「木の枝と年輪」を固定してから「消しゴム」の上に押しつけて固定するほうがよい。固定のため、5分くらい動かさない
- ・スタンプの「前」(スタンプを押す方向)が分かるように、「年輪」や「木の枝」の形を工夫したり、「印」をつけたりするのもよい。



- ⑨ 「完成したスタンプ」を、「A4紙」に押して、最終確認をする。

- ・「ペイントマーカー」で着色したり、「ネームペン」で「名前」を付けたりしても構わないが、あまり手を加えると、「自然の素材のよさ」がなくなってしまう。



A タイプ

B タイプ